



【回収できるプラスチック資源】

- ① プラマークがついた容器包装
 - ② 100%プラスチックでできた製品
- 例)
- 1) トレイ・パック類
卵パック、肉、魚等の食品トレイ類、カップなど
 - 2) ラベル・ボトル・包装類
ペットボトルラベル、ボトル類、お菓子の袋、カップ麺の容器など
 - 3) 100%プラスチックでできた製品
くし、歯ブラシ、バケツ、タッパー型保存容器など



第2、第4木曜日に食品トレイとプラスチックごみを一緒に専用ネットに出してください。



▲このマークが目印

注意しましょう！

- ① プラスチック以外のものがついている場合
プラスチックとそれ以外の素材が混ざっているものは出すことはできません。燃えるごみに出してください。ラベルやシールが剥がせない場合は、張り付いたまま出してください。
- ② ひどい汚れがついている場合
付着している固形物や油のべたつきは取り除いてください。取れない場合は燃えるごみに出してください。
- ③ プラスチックごみとして出すことができる大きさ
プラスチックごみに出せる大きさは、30 cm未満になります。大きいものは切ってごみに出せます。

プラスチック削減は環境と家庭に優しい取り組みです！

(例) 削減行動	節約費用	プラごみ削減量の目安	プラごみのCO2削減量の目安
ペットボトル飲料をマイボトルにした場合	53,700円	約 10.3kg 削減	約 43.4kg 削減
ペットボトル飲料1本 160円を365本購入して飲んだ場合 (年間) 費用→58,400円			
マイボトルを1,500円で購入し、お茶パック50袋入り400円を8箱購入して毎日詰め替えて飲んだ場合 (年間) →費用4,700円			



Interview



町保健委員
委員長
佐藤 壽恵 さん

当初は感じませんでした。徐々に
出されている燃えるごみが減ってきた
と感じるようになってきましたね。プラ
スチック回収についても、出し方が
綺麗になっていると思います。ごみカ
レンダーを確認しながら出すようにす
るなど、ひとり一人が意識を持って行
動することが大切だと思うので、ご協
力をお願いします。



町内在住
主婦
Aさん

春から分別の仕方が変わり、最初は
戸惑いもありましたが、だいた慣れて
きました。いざやり始めてみると、今
まで燃えるごみとして出していたもの
が結構資源回収に出せるので、燃える
ごみとして出す量が減ったと思います。
地球や環境の保護に少しでも貢献でき
たらと思っています。

生活ごみを適正に分別する
ことで、限りある資源を有効
活用することは、燃やすごみ
や埋め立てるごみを減らし、
環境保護にも繋がっていく取
り組みです。

例えば、毎日一本買ってい
たペットボトル飲料をマイボ
トルに変えた場合、プラスチ
ックごみやCO₂の削減が
できるだけでなく、年間約
5万円の節約に繋がります。

分別は大変だというイメ
ジがあるかと思いますが、環
境にも家計にも優しいごみ削
減について、できることから
少しずつ取り組んでいきま
しょう。

● 問い合わせ先
健康環境課
62-2115
町HP



※写真はイメージです。



環境を守るため
ごみの減量について考える

ごみの減量問題は、現代社会が直面する重要な課題となつて
います。ごみが増え続けると、処理にかかる費用の増大だ
けでなく、環境問題にも発展してきます。福島県は、令
和5年度時点でひとりあたりのごみの排出量が全国ワース
ト2位となっており、ごみの減量への努力が不可欠となつ
ています。皆さんもごみの減量について考えてみませんか。

資源循環を意識する

町の一人あたりのごみ排出
量は年々減少傾向にありまし
たが、コロナ禍を機に再び増
加傾向にあります。この数値
は県平均を下回っていますが、
全国平均と比べると上回って
います。

町では、プラスチックに係
る資源循環の促進等に関する
法律に基づき、今年4月から
新たに、これまで燃えるごみ
としていたプラスチックごみ
を資源として分別回収してい
ます。

プラスチックは、私たちの
生活になくてはならない素材

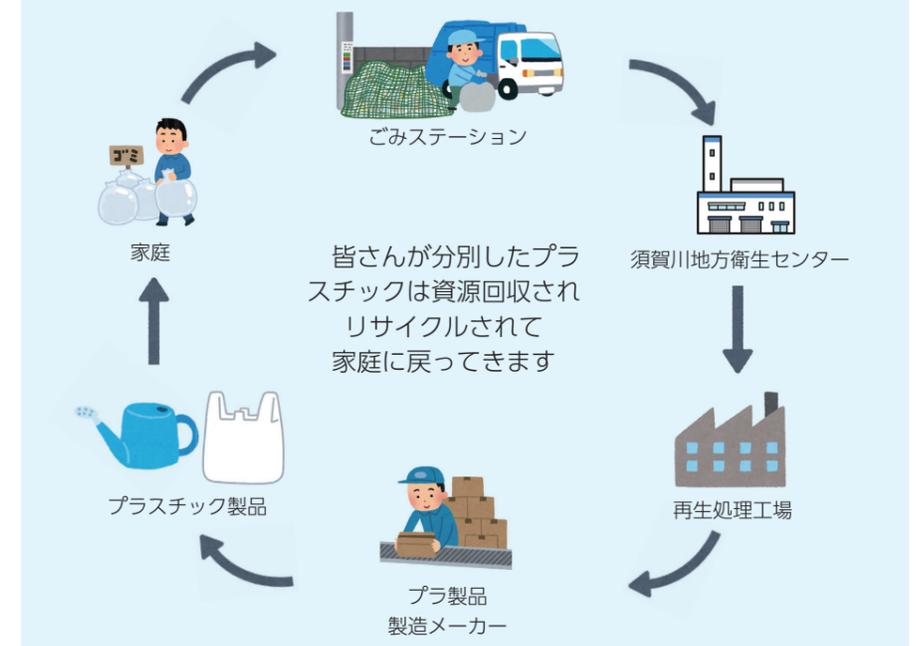
となつていますが、プラスチ
ック製品の生産から廃棄までの

過程では、温室効果ガスが排
出され、地球温暖化の一つの
要因にもなつていきます。その
ため、プラスチックの資源循
環の考え方は非常に重要です。
つまり、プラスチック資源
として回収することは、ごみ
の減量につながることでだけ
はなく、環境にも優しい取り
組みです。

分別回収された後

私たちが分別して出したプ
ラスチックごみは、まず須賀
川地方衛生センターに回収さ
れます。回収したプラスチッ

プラスチックのリサイクルの流れ



クごみは、分別ルールが守ら
れているか確認作業を行い、
確認できたプラスチックごみ
は、四角い塊に圧縮され、再
生処理工場に出荷されます。
四角い塊にされたプラスチッ
クごみは、その後、粉碎、熱
処理などが行われ、ペレット

と呼ばれる新しいプラスチッ
ク製品の原料になります。
このペレットを加工して作
られた新たなプラ
スチック製品は、
また皆さんの家庭
に戻ってきます。